

「求める職員像」の策定について（提案）

公立大学法人化に向けて本学においては、教育、研究、地域連携および大学運営を支える職員の役割が一層重要になると考えられる。特に、本学が掲げる理念ならびに内部質保証の考え方を踏まえ、職員一人ひとりが根拠に基づく思考、多様な主体との対話・協働、全学的視点に基づく改善に主体的に取り組みながら、大学と地域社会の持続的な発展に関わることが求められる。

また、本学においては、教育、研究、地域連携および大学運営を一体的に推進する観点から、教員と職員がそれぞれの専門性を尊重しつつ協働する「教職協働」の推進が重要となる。さらに、人口減少社会における地域課題の複雑化や大学を取り巻く環境の変化に対応するためには、スタッフ・ディベロップメント(SD)、On-the-Job Training(OJT)、地域活動、人事交流等を通じて、職員が継続的に学び、組織として成長し続けることが必要である。

よって、本学における求める職員像および人材育成の方向性を明確化するとともに、内部質保証を支える実践的基盤として、「名寄市立大学 求める職員像」を策定するものである。

○名寄市立大学 求める職員像（案）

理念

名寄市立大学は、本学の理念および使命を理解し、根拠に基づく思考と多様な主体との対話・協働を通じて、大学と地域社会の持続的な発展に主体的に取り組む職員を求めます。

また、名寄市立大学は、多様な背景を有する職員を受け入れるとともに、スタッフ・ディベロップメント(SD)、On-the-Job Training(OJT)、地域活動、人事交流等を通じて、全ての構成員が学び続け、相互に成長し続ける組織文化の形成を目指します。

行動原則

- 1 多様な主体を尊重し、対話と協働を重視する。
- 2 根拠に基づき、考え、行動し、省察する。
- 3 全学的視点に立ち、考え、行動し、改善する。
- 4 地域社会の課題を発見し、その解決に主体的に取り組む。

期待される能力

- 1 多様な主体と対話し、協働する力
- 2 データを収集・分析し、活用する力
- 3 組織を理解し、企画、調整、改善する力
- 4 課題を発見し、解決に取り組む力